

桑名市議会議長

飯田 一 美 様

第4班 班長

安藤 寛 雅 印

### 議会報告会実施結果報告書

開催日時	平成25年4月19日（金）18時30分 ～20時25分		
開催場所	桑名市民会館		
出席議員	班 長	安藤 寛雅	
	司 会	渡邊 清司	記録者 市野 善隆
	飯田 一美	伊藤 文一	大橋 博二
	倉本 崇弘		
参加人数	28 人		
議会報告の概要	<ul style="list-style-type: none"><li>・司会者挨拶・事前説明（18：30～18：32）</li><li>・班長挨拶（18：32～18：36）</li><li>・平成24年12月定例会の概要（18：36～18：42、報告・大橋）</li><li>・平成25年3月定例会の概要（18：42～18：46、報告・倉本）</li><li>・市議会議員定数条例の一部改正（30人から26人へ） 平成24年12月定例会の議決議案等一覧（18：46～18：49、報告・安藤）</li><li>・平成25年度の主な予算及び事業概要・議決議案等一覧（18：49～18：58、報告・市野）</li><li>・意見交換（18：58～20：25）</li></ul>		
主な意見・要望	別紙のとおり		
備 考			

## 議会報告会記録

### 【第 4 班】

開催日時	平成25年4月19日（金） 18時30分 ～20時25分	
開催場所	桑名市民会館	
参加人数	28人	
議会報告に対する質疑応答	質 問	回 答
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大和地区の前市長との懇談会で、「市の財政は黒字か、赤字か？」と質問したら、前市長から「黒字。」の回答があった。桑名市の財政は、市議会はどのように考えているのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行政の会計は民間企業とは違い、起債（借金）をしても歳入とみなさる。民間であれば負債となる。起債の際には、市中銀行等から入札等により有利（低金利）な負担をしている。会計上の処理の仕方から、単に、黒字・赤字とは言えない。</li> <li>・住民サービスの低下を招かないように起債も抑制しながら、必要なサービス・緊急的な事業の優先度等を勘案し事業推進している。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・陽だまりの丘が注目され、市の事業推進がされている。播磨駅の近くに住んでいるが下水道も整備されていない。大山田川には自転車等のゴミ等が堆積し、何らかの対応が必要ではないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大山田川ばかりでなく町屋川等も含め、河川管理ゴミ・樹木・堆積した土砂等の問題がある。場所により、国・県の管理の場所もあり、市議会でも問題提起をしている。ご意見として伺い、今後も市へ要望を続けていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境問題で中国のPM2.5（大気汚染・大気中に浮遊する微小粒物質）等があり、雨が降れば地面に落ちる。安心した水道・農業用水の確保は、今後、困難ではないのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直ちに回答できる問題ではないが、今後も安心な水の確保に努めていく。 (会場から「そんな事をこの報告会で言い出したら切りが無い。ここでは、桑名で対応できる話をしなければ」の意見有。)</li> </ul> <p>※ 後日、担当課にPM2.5の影響について確認</p> <p>PM2.5は、粒径が非常に小さいために(髪の毛の太さの1/30程度)肺の奥深くまで入りやすく、呼吸器系への影響に加え循環器系への影響が懸念さる。</p> <p>三重県のPM2.5の注意喚起情報の発令については、県内</p>	

		<p>19か所の測定局の1か所以上において、午前5時～7時の平均値が70 <math>\mu\text{g}/\text{m}^3</math>を超えた際に当日の8時頃を目途に発令される。</p> <p>桑名市では、注意喚起の発令後、市内保育所、幼稚園、小中高校等に連絡をするとともに、市ホームページに必要以外の外出や屋外での長時間での運動を控えていただく等の注意喚起情報を載せるなどの対応を考えている。</p> <p>農作物に与える影響については、データが不足しているようで環境省内でも議論が進んでいないのが現状。PM2.5が一時的に農作物に付着することは想定されるが、付着したとしても微量であり、安全性への影響は少ないのではないかとの意見もある。</p> <p>また、水道については、浄水場で厳密な浄化処理をして、市民の皆様に安全な水を提供している。</p> <p>今年度はまだ三重県ではPM2.5濃度が高くなることはないが、今後も安心安全に生活ができるように、環境省、三重県と情報を共有して対応していく。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(仮称)城南地区防災センターは、どの程度の大きさなのか。</li> <li>・消防出初式の輪中ドームのようなものなのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国の事業として堤防道路の高さまで嵩上げされた土地(河川防災ステーション)に、市が(仮称)城南地区防災センターを整備する。場所は、液状化の可能性がないと判断した場所に、国が土盛りをした。</li> </ul> <p>この場所は、国の事業で河川防災ステーションとしてヘリポート等が整備される土地に、市が建物(平屋建)18×9m程度の和室2室・会議室等を整備する。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災・減災・避難所等の考えは。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国・県の事業として伊勢湾・木曾三川の堤防調査により、空洞化等場所は改修工事を施工している。避難に関して、公共施設等の指定ばかりでなく、民間施設の指定や自主防災組織等の育成を推進していく必要がある。</li> <li>・ 津波等の場合、「まず逃げる。」という認識も日頃から考えていただく必要もある。</li> <li>・ 地域の事は地域で考えて避難所の確保に努めている自治会もある。</li> <li>・ 市議会も防災・減災・避難所の確保等に努めるように市に働きかけていく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大山田・陽だまりの丘地区が注目され、施設整備がされているが、城南地区も注目してほしい。民間の避難所があっても第二名神 IC 付近で、津波等の場合、南（伊勢湾）へ向かって逃げる人もいないし場所もない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第二名神 IC 付近の民間施設を避難所として指定しているが、今後も避難所等の確保に努めていく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この議会報告会は、新聞で知った。議会全体として、どのように情報発信をしているのか。また、議会からや各議員側からの市民への情報発信が少ない。現代社会では、ネット配信他の手法もある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市の広報と同じように3ヶ月に一度「市議会だより」の発行や市議会ホームページ等で発信している。</li> <li>・ 議員個人でブログ・ツイッター・フェイスブックをしている方もいる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桑名駅西の開発について、特に無料駐輪場は整備されるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共の無料駐輪場として、駅東の市駐輪場は有料であり、厳しい面がある。ご意見として伺い、市と協議をしていく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 駅西都市計画区域の中に活断層があるのをご存知か。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 議会の中で質問された方はあるが、議員間で協議された事はない。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昨年、この会場での議会報告会の際、桑名駅のバリアフリー化について質問した。その後の事業展開の報告等も見られないが状況は。推進されているのであれば、広報等で周知の必要があるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 近鉄桑名駅のバリアフリー化について、平成27年4月の供用開始に向け取り組んでいる。計画では、エレベータ2基他である。更に1基の増設も考えている。広報等で周知も図り、市民の皆さんに利用しやすい駅となるよう推進していく。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 多度・長島には、災害等に備え広報無線があるが、桑名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 災害時の伝達手段全体の中で考えていく必要がある。</li> </ul>

	にはない。どのように考えているのか。	
	・今の市長に伝えてほしい。人気がないと。何がしたいのわからない。	・我々では答えることはできない。
	・星川・坂井橋周辺の交通渋滞等への対応や橋の架け替えの事業推進をお願いしたい。	・県の事業であり、坂井橋の架け替えは地元交渉をしている段階である。桑部橋については、員弁川の堤防改修（引き堤）も合わせて実施している。県・市と事業推進を図っていく。
	・桑名市役所の行政組織について、縦割り行政から横割り行政への転換が必要ではないのか。	・市役所全体でまちづくりに取り組んでいくように考えていきたい。
	・伊勢大橋は「日本で一番危険な橋」として報道された。現在の事業進捗は。	・補償交渉が一部残っていると聞いている。過去には、自治会・商工団体等の皆さんの協力を得て国へ要望活動をしてきた経緯も承知している。議会も国へ要望活動を行っており、今後も推進していく。
	・桑名市内の小児救急も24時間体制が取れず、厳しい状況にあり、一般の患者さんも海南病院へ流れている。今後の桑名の医療は。新病院の駐車場の問題はないのか。	・ご指摘の状況は議会も認識している。そのため市民病院と山本総合病院の再編統合を市議会も推進した経緯がある。新病院に関し、市内の医療機関・公共施設他にポスター等でお知らせをしており、目指す病院像・診療科目等の事項を掲載している。都市機能として、新病院の道路他の周辺施設もどうあるべきか行政全体で考えるように提案し会議も開催された。新設棟の1・2階他を駐車場とするが、十分でないと思われるので確保に向け取り組んでいくよう提案している。H27年4月、1院体制での「桑名市総合医療センター」のオープンが遅れることのないように議会も推進していく。
参加者からの意見・要望等	<議会報告会意見交換の場で参加者からの意見・要望等>	
	・伊勢大橋架け替えの事業推進	
	・大山田川のゴミ等の問題	
	・防災・減災・避難所整備等への取り組み	

	・桑名地区の災害時の情報伝達手段（広報（同報）無線他）
	・城南地区の避難所の整備
	・駅西（無料）駐輪場の整備
	・近鉄桑名駅バリアフリー化の推進
	・星川・坂井橋・桑部橋周辺の渋滞対策の解消と橋の架け替えの推進
	・桑名の小児医療を含む医療の充実
	・桑名市総合医療センターの充実